

## アメリカ所在キリスト教各派日本関係文書について

杉井 六郎

## はじめに

アメリカ合衆国所在の日本関係史料の調査は、はやく和田禎純、田中一貞氏らによって試みられ、さらに、文部省維新史料編纂会の企画にしたがって、大塚武松氏が、一九二九年米回国務省の所蔵文書の調査を行ない、その成果は「維新史料引継本」(東大史料編纂所蔵)に、「北米合衆国務省所蔵文書目録」二冊、同上「摘要」六冊に収められていることはよく知られていることである。

近くは、東大史料編纂所の金井圓氏が『史学雑誌』六九編九号(昭和三五年九月)で、「アメリカ合衆国所在日本関係史料調査報告」で発表されているように、昭和初年の文部省維新史料編纂会の段階で採訪探求されたよりは、さらに綿密な徹底した採訪調

査が行なわれて、国務省旧蔵文書、海軍省旧蔵文書、議院旧蔵文書の概要が知られるようになり、アメリカ合衆国に伝存すべくして保存された日本関係の公式の文献資料は概ねその所在を確認できるところになった。

もちろん、これは、National Archives 関係一つをとってみても、閲覧規則や所蔵する古文書の修理、保存の体制の整備など、アメリカ合衆国における文献資料の保存状況がしだいに整ってきただことにも起因しており、National Archivesguide, Supplement to the National Archivesguide: National Archives accessions nos. 50-54 (1954-58), Your Government's records in the National Archives 1950, List of documents relating to Special Agents of the Dept. of the State 1789-1906 (Special

List) (No. 7, 1951), List of Foreign Service Posts records in the National Archives (Special Lists, No. 9, Rev. ed., 1958), Records of Selected Foreign Service Posts. Preliminary Inventories No. 60, 1953, The United States Senate 1783~1946などを参照すれば、概ねその所在をたしかめられるようになった。しかも、List of National Archives microfilm publication 1953, Letters received by the Secretary of the Navy from Commanders, 1804-1886. Pamphlet accompanying Microcopy No. 147, 1955 などによれば、マイクロフィルム化した文献資料の写しを入手できるようになっていることとすべしに周知の通りである。こうしてその所在がたしかめられ、文献資料の収集が可能になったのは政府・当局・要路などに取りかわされた、いわば官庁記録が主であって、外交・政治・軍事などの国家間の交渉経緯を究明するために、基本的に必須なものである。幕末維新以降の国内問題が国際関係的な視野のなかで把握しなければならぬことは論をまたず、そのために、外国に伝来すべくして伝存する文献・資料の探訪によって、検討を要請されるべき、これらの文献・資料の使用の便宜がえられるようになったことは喜ばしい限りである。

しかしながら、これらの文献・資料は上述のように、相互の国交

の展開経緯をたぐるなかで生まれた公式の記録でもって、その文献・資料類は、いわばイギリスの Public Record Office が収蔵するそれのように国有文書の性格をもっているものである。もちろん、こうした国際関係史上の公式記録、あるいは、公式記録に準ずるものが、すべて、National Archives, National Congress にばかり収蔵せられるわけではなく、渉猟の範囲はごく狭いが、例えば明治初期の御備外国人顧問のなかで北海道開拓事業に多大な貢献をしたホレース・ケプロン Horace Capron 関係の記録はイェール大学図書館 Capron Papers, Historical Manuscripts Room, Yale University Library, New Haven, Conn. に統一、五〇〇点収蔵されており同じくケプロンの下にあって北海道の地質調査を行なったメンジヤミン・ライマン Benjamin S. Lyman 関係の記録はノーザンプトンのフォープス図書館 Foebbes Library, Smith College, Northampton, Mass. に一括して収蔵されており、グリフィス関係の資料も後述のように、ニューブラウンズウィックのラトガース大学図書館 William E. Griffis' Paper, The Rutgers-State University, New Brunswick, New Jersey に収蔵されていて、いわゆる日本政府御備として活躍し、その当時における日本政府との交信および、その後の日本の知人との私的な書簡の往復ならびに、かれらの個人の蒐集にかかる日本文献

資料を収蔵している。

このような正規な国交関係以外の私の収集にかかるか、あるいは私の匣底に保存せられてきた文献・資料については、それはいわゆる家蔵資料に相当するものであるが、やがては総合的な調査探訪が行なわれ、正規の公式記録の性格を補強するものとして、綜合目録の作成が進められることが期待される。しかも調査探訪を両国間の外交・政治・軍事・教育・経済等の公式の交渉範囲にまで拡大すれば、それは例えば、大森貝塚発見者のエドワード・モース Edward Morse の場合、詩人ロングフェローの息子、チャールス・ロングフェロー Charles Longfellow 航海・旅行の日誌、ボストン周辺の船主の東洋航路における航海日誌、朝河貫一博士関係およびイェールアソシエーション Tokyo Yale Association の記録、さらには賀川豊彦のアメリカ合衆国における伝道記録など著者の偶目したのみでも枚挙にいとまがないが、これらによれば、国民的な規模にまで巾をひろげた交渉史の素材をうることになり、日米関係史あるいは日米交渉史はまったく、新しい展望を予測されることになる。

さて、幕末維新のキリスト教開教以来、もっとも大量の宣教師を日本に投入したのはアメリカ合衆国であるが、それによってもたらされたキリスト教、とくにプロテスタントイズムとそれに随

伴してもたらされた西欧近代の科学技術ならびに近代政治思想、経済思想、その他もろもろの近代文明は幕末維新以降の日本の近代化過程において、きわめて大きな影響力をもったが、これらの派遣宣教師たちが、その日本在留中本国のそれぞれのミッションの本部に宛てて出された報告書の類は、従来二三の例を除いてはほとんど総合的に調査探求されることがなかった。

明治・大正思想史におけるプロテスタントイズムの意味はきわめて大きいにもかかわらず、近代宗教史、キリスト教史、キリスト教思想史、教育史、社会事業史さらに宗教社会学などにおいては、各教派、各教会の所蔵するいわゆる伝来の記録のほかは『七一雑報』、『福音週報』、『福音新報』、『基督教新聞』、『護教』、『キリスト教世界』、『六合雜誌』、『新人』、『新世紀』、『労働世界』などの当年に出版発行された新聞・雑誌類を典拠文献とする研究の域を出なかつた。とくに、佐波且の『植村正久と其の時代』はキリスト教関係の文献を集大成した性格のものであったから、古い新聞・雑誌の一括して閲読する便宜のえられないまま、これを一次史料的に使用する弊害を生んできたといつて過言ではない。

こうした近代宗教史とくにプロテスタント史の史料的な欠陥を丹念に克服しようと努力された方は、昨年なくなられた小沢三郎氏である。同氏の『幕末明治耶蘇教史研究』(昭和一九年二月、

並細並書房)に序をよせられた尾佐竹猛博士は「ジャングル」に立ちむかう小沢氏を称揚されている。小沢氏のプロテスタント史研究に関する国内の根本的な資料の発掘作業はその後も進められ、昭和三十九年出版の『日本プロテスタント史研究』(東海大学出版会)によると、なお収録しえなかった論文・史料が該書の十数倍にのぼることを自序で述べておられる。若い学問であるプロテスタント史研究が小沢氏の基礎的な作業にうけることはきわめて大きいものがあり、他日氏の収集にかかる国内諸資料が整理されて上梓されるのを望むのは筆者ばかりではない。

近代宗教史とくにプロテスタント史、あるいはプロテスタント思想史において、こうした国内の基本的史料の発掘作業とともに重視されねばならぬのは外人宣教師の本国ミッション本部にあてられた報告書である。これらの報告の抜萃は一部がそれぞれの伝道局出版の伝道報告書に収載せられ、例えば組合系宣教師の報告書はボストンで発行されたミッションナリー・ハラルド、Missionary Herald, Boston, American Board of Commissioners for Foreign Missions (A. B. C. F. M.)、ペンテテスト系宣教師の報告書は同じくボストン発行のミッションナリー・マガジン、The Missionary Magazine, Published by the American Baptist Missionary Union (一九一〇年以降は Missions と改称)、長老派およ

び改革派系の The Missionary、聖公会系の The Spirit of Mission などがある。

しかし、これらは前述のように報告書箇の抜萃であって、しかも、各ボードにおいて宣教・伝道上興味の高いものを収録したものであるが、かれら宣教師が日本の風土に接して直接に感じ、考えた報告書箇のものと形は知ることができぬうらみがある。したがってこうした各教派宣教師の本国ミッション本部にあてた報告書箇の原文をとおして、日本の近代史の構造のなかに、東西文化の接触の切片として、綿密に、丹念にとりあげて検討すべきであるという考えは、はやく要請されていた課題であった。

しかしながら、従来こうした課題は、はやく要請されながら、日本近代史の構造の切片として究明されなければならないという意識は実はすぐれて強いものではなかった。むしろ、キリスト教史(プロテスタント)、神学思想史、日本キリスト教会史などにおいてはまず、教派・教義別に把握されようとする性格があったり、あるいは宣教・伝道における人格的人物論であったり、さらには、書誌学的な、あるいは文献学的な研究にとどまるものであった。日本における近代思想史はこのような欠陥を克服してゆかねばならない問題をかかえていることはいうまでもない。

しかも、このような問題意識を内包しつつ、日本近代史の切片

として宣教師報告を検討すべきことが要請されながら、後述するような種々な制約のもとで、従来各教会、各教派を通じた総合的な史料の所在目録を見ることもできなかったのが現状であった。

さて、現在までに教派別ではあるが、こうした史料の収集、整理に着手したものには次のようなものがあげられる。まず組合教会系のアメリカン・ボード American Board of Commissioners for Foreign Missions の場合には、その所蔵する宣教師報告をマイクロフィルム化することによって、同志社のオーティス・ケリー氏 Otis Cary を中心として、キリスト教社会問題研究会 (C. S.) に研究プログラムがあり、また、同じマイクロフィルムをもとにした関西学院の川村大膳氏を中心とした研究がある。

なかでも川村大膳氏を中心にしたグループでは困難な作業を進めて、すでにその一部が「アメリカン・ボード日本布教報告書の研究」(「関西学院史学」V一九五九)、「アメリカン・ボード日本布教報告書の研究」(「関西学院大学共同研究紀要『明治研究』昭和四二年三月)と二回にわたって史料紹介、解説が試みられ、とくに後者においては、年次報告・会議録類ならびに廻文等一七七通、宣教師の書簡ではアダムス A. H. Adams 四五通、アダムス S. Adams 四通、オルチン G. Alchin 二通、アトキンソン J. L. Atkinson 六五通、アトキンソン C. G. Atkinson 二通したがって都合二九

五通の史料目録が付載されている。しかし、川村氏が史料目録一八六九〜一八八〇年とされているのは氏もことわられている通り整理・解説が進められたところまでのものであって、この年間約一、五〇〇通におよぶ任命書・年次報告・伝道報告・会議録ならびに廻文および各宣教師書簡類のごく一部であることが知られる。

その邦訳にはままたりく用語との混用が見られ、また訳語に当時歴史的に慣用されていた名辞を使用していないうらみがあるが、この困難な時間を要する作業が精力的に進められ、アメリカン・ボードの宣教師報告書文書目録の完成される日が期待される。

つぎは高谷道男氏の労作である。それは長老教会派 Presbyterian の宣教師 (ボン James Curtis Hepburn の書簡を抜萃抄訳するという困難な作業を進められたもので、氏には、はやく、『ドクトル・ヘボン』(昭和一九年牧野書店)、『The Letters of Dr. Hepburn』(昭和三〇年東信書房)があるが、これを修正補筆して『ヘボン書簡集』(昭和三四年岩波書房)を出版された。さらに、氏にはオランダ改革派 Dutch Reformed Church in America の宣教師エス・アール・ブラウン Samuel Robbins Brown の書簡を抜萃・抄訳したものがあり、『S. R. ブラウン書簡集——幕末明治初期宣教記録——』(一九六五年日本基督教団出版部)がそれである。ヘボンならびにブラウンは旧日基系の伝道・宣教におい

て、開拓・展開の時代にわたって活躍をした有数の宣教師たちであるから、かれらの本国出立以来の本国ミッション本部にあてた書簡には、東西接触期のかれらに交錯した期待と不安がにじみ出ていて、すぐれて興味深い報告書である。川村大膳氏が史料目録を提供してゆこうとされるのに対して、高谷氏の作業は、これら書簡類の全貌を知るのに、重要書簡の部分邦訳するという形で研究者に「日本プロテスタント史学の基礎」を提供されようというわけである。しかし、これら宣教師報告書の日本近代史における史料の意義は、首尾完結した書簡、いはば完全な史料に求められることはいうまでもない。作業の都合によって、大量の書簡から選んだ形で編集されることは一つの方法であるが、部分訳では、近代史の切片として決して十分ではない。氏の労作からうける恩の大きいことを思うにつけ、それらの書簡の全貌を完全な形で検討されるようになることを期待するのは決して筆者ばかりではあるまい。なお、同氏はさらに、フルベッキ Guido Fedolin Verbeck の書簡の出版を計画されていると聞いているが、こうした望蜀の思いが聞き届けられるようにと願っている。

さて、このように見えてくると、キリスト教伝道は各宣教師の各個の良心にもとづき、その信仰に支えられて、日本の都市、地方いたるところに展開されるという各個独立した形態をとったわけ

であるが、各教派内においては、宣教・伝道の方途に関して緊密な連絡が宣教師会議として持たれ、教派として統一した動きを展開したことは事実であり、さらに、各教派間においても、懇親・大親睦会さらには、合同の方策についての論議も行なわれ、これと行をともにした日本人教役者の間にも、教派や教会を超えたうごきが認められる以上、キリスト教思想あるいは信仰と日本文化の接触の問題は一教義・教派・教会の枠にとられず、新しい人間観の相剋のなかで見直さなければならない。筆者のしばしば使った言葉で言えば、各教派・教会派遣の宣教師報告書は、日本近代史の構造の一切片として、統一的に見直さなければならないわけである。

筆者がたまたま一九六七年から六八年にかけて、フォード財団研究員に選ばれ「文化学術交流計画」にもとづく海外研究生活のチャンスを与えられたおり、在米中の資料探訪計画の第一に設定したのは、各教派・教会の宣教師報告書の総合的調査探訪であった。

それはアメリカ合衆国各地に点在する各教派・教会史料の探訪であって、もちろん時間的な制約のために、ついに探訪できなかったところもあり、また小教派のうごきにまで調査の足をふみ入れることができなかったうらみは残るが、従来の欠陥を少しでも

補うことができればと思つものである。

### 各教派日本関係文書の所在および目録

海外派遣の宣教伝道報告はさきに述べたように各教派において伝道報告書が編集出版され、これら公刊された伝道報告書に関してはたとえばニューヨークのユニオン神学校 The Missionary Research Library やアメリカン・ボードを改称した The United Church Board for World Ministries (U. C. B. W. M.) のあそ 475 Riverside Drive の United Church Center 内の ヴァン・ライブラリー、たとえば、メソヂスト伝道図書館 The Methodist Mission Library、長老派伝道図書館 The Presbyterian Mission Library など、各教派の図書館でほとんどこれを尽すことができる。日本では、実はこれら公刊された伝道報告書したいを一冊の欠本もなく、閲覧・講読の便宜をうる事が困難な現状にあることは、上述するような研究をすすめるうえで、大きな支障といわなくてはならない。まして、これらの伝道報告書に収録せられず、未公刊のまま保存せられている原文書——それには当然上述のようにその一部が掲載されているものを含めて——の所在ならびにその収蔵状況、その閲覧の便宜などについては従来きわめてかきられた範囲でしか、その全貌は知られていなかった。

それは各宣教師の書簡がその大部分をしめるわけであって、後述するように閲覧に関する年代的な制限、発表に関する版權の問題などもかかわっていて、しかも、あらかじめ公表をさしひかえている控除された書簡もあり、しかも文書としては、薄様の便箋に手書きで綴られた報告書簡であるために、インキがにじんで解読に困難をきたしているもの、便箋の欠損がはなはだしく、すでに取り扱いに注意を要するものなどがあり、かつ、その調査に多大の時間を要することなどの諸条件がかさなって、この総合的な調査を遅延させていた。

従来これらの概要が知られていたものには、まず、もとホストンのアメリカン・ボードに収蔵されていた組合系宣教師の報告があげられる。これは現在ハーバード大学のホートン・アークアイブス Houghton Archives, Harvard University, Cambridge に移管収蔵されている。また、オランダ改革派教会 Dutch Reformed Church in America 関係派遣宣教師の報告は現在ニュージャージー州ニューブラウンズウィック New Brunswick, New Jersey のニューブラウンズウィック神学校図書館 Gardner A. Sage Library, Theological Seminary, New Brunswick に収蔵されている。

そのほか、シカゴ大学神学校ビーバー教授 R. Pierce Beaver が

らあらたに聖公会系の宣教師の報告がテキサス州オースチンの聖公会神学校 The Episcopal Theological Seminary of the South-West, Austin, Texas に收藏されてゐる。この Baptist 関係の宣教師の報告書簡はバレー・フォーシの Baptist ミッション本部のアメリカン・バプテスト海外伝道協会 American Baptist Foreign Mission Society, Valley Forge, Pennsylvania, ニヨリ、ニューヨークロキホースターの Baptist 歴史協会 The Baptist Historical Society, The Colgate-Rochester Divinity School, Rochester, New York に收藏せられてゐるを知らされた。また、プリンストン大学マリウス・ジャンセン教授 Marius B. Jansen ならびに同教授の兄でオースチン長老派神学校教授ジョン・ジャンセン教授 John Frederick Jansen からは長老派ならびに改革派系の歴史的文献ならびに原文書がノースカロライナ州のモントリート Historical Foundation of the Presbyterian and Reformed Churches, Montreat, North Carolina にあるのを教えられた。また、ニューヨークの前記プレスビテリアン・ライブラリーで長老派教会の宣教師報告書がフィラデルフィアの歴史協会 The United Presbyterian Church Department of History—Presbyterian Historical Society, Philadelphia に收藏されてゐることを知らされた。さらに、私の居所がニューヨークの New

Haven に移つてからは、イェール大学神学校でジョン・アール・キート John R. Motte 関係の Y M C A、Y W C A 活動資料を探訪することができ、ナッシュビル Nashville にあるメソヂスト関係の調査を除いて大方の未刊宣教師関係報告書簡類を探討調査することができた。

以下はそれらの未刊宣教師関係文書の所在、所蔵に関する仮目録である。

### 1 アメリカン・ボード宣教師関係文書

所在 Houghton Archives, Cambridge, Mass.

この派の日本宣教伝道は一八五九年一月からはじめられた。

宣教師関係文書と題したのは、その收藏する文書のなかには日本人役者の報告書類も同じように一括してファイルされているからである。現在ホートン・ブライブスに收藏されるこれら原文書にはすべて簡単な仮目録が作られ、その分類目録 A Checklist of the American Board of Commissioners for Foreign Missions によると、日本の部に関しては、ABC: 16. 4. 1. Mission to Japan, 16. 4. 2. Mission to Japan. Woman's Board, 16. 4. 3. Mission to Japan. Miscellaneous に大別されてゐる。

ABC: 16. 4. 1. Mission to Japan は次のような内容に分類整



聖和年代記。

アメリカ所在キリスト教各派日本関係文書について (杉井)

Vol. 01	Documents, Supplementary	1869-1929	Vol. 20	V. 8	"	Go-Gr	(564)
Vol. 1	Mission to Japan	1871-1880	Vol. 21	V. 9	"	Ch <sub>1</sub> -H	(565)
	V. 1 Documents and Letters A	(370)	Vol. 22	V.10	"	I-L	(566)
Vol. 2	V. 2 " B-D <sub>A</sub>	(371)	Vol. 23	V.11	"	M-P	(567)
Vol. 3	V. 3 " De-G	(372)	Vol. 24	V.12	"	R-Sta	(568)
Vol. 4	V. 4 " J-Z	(373)	Vol. 25	V.13	"	Ste-W	(569)
Vol. 5	Mission to Japan	1880-1890	Vol. 26	Mission to Japan			1900-1909
	V. 1 Minutes, etc.	(442)		V. 1 Documents			(701)
Vol. 6	V. 2 Documents	(443)	Vol. 27	V. 2 Documents			(702)
Vol. 7	V. 3 Letters A	(444)	Vol. 28	V. 3 Letters A			(703)
Vol. 8	V. 4 " B-C	(445)	Vol. 29	V. 4 " B-C			(704)
Vol. 9	V. 5 " D	(446)	Vol. 30	V. 5 " Cu-D			(705)
Vol. 10	V. 6 " G	(447)	Vol. 31	V. 6 " E-K			(706)
Vol. 11	V. 7 " H-P	(448)	Vol. 32	V. 7 " L			(707)
Vol. 12	V. 8 " R-W	(449)	Vol. 33	V. 8 " M-R			(708)
Vol. 13	Mission to Japan	1890-1899	Vol. 34	V. 9 " S-W			(709)
	V. 1 Documents	(557)	Vol. 35	Mission to Japan			1910-1919
Vol. 14	V. 2 Documents	(558)		V. 1 Documents			(778)
Vol. 15	V. 3 Letters A	(559)	Vol. 36	V. 2 Documents			(779)
Vol. 16	V. 4 " B	(560)	Vol. 37	V. 3 Letters A-C			(780)
Vol. 17	V. 5 " Ca-Co	(561)	Vol. 38	V. 4 " D-H			(817)
Vol. 18	V. 6 " Cu-Da	(562)	Vol. 39	V. 5 " H-P			(782)
Vol. 19	V. 7 " De-Gi	(563)	Vol. 40	V. 6 " P-Z			(783)
			Vol. 41	Mission to Japan			1920-1929

V. 1 Minutes

Vol. 42	V. 2 Reports I	(843)
Vol. 43	V. 3 Documents & Reports II	(844)
Vol. 44	V. 4 Documents & Secretary	(845)
Vol. 45	V. 5 Secretary's Bulletin; Letters A	(846)
Vol. 46	V. 6 Letters B—Cu	(848)
Vol. 47	V. 7 " Co—F	(849)
Vol. 48	V. 8 " G—Ho	(850)
Vol. 49	V. 9 " Hu—M	(851)
Vol. 50	V. 10 " N—P	(852)
Vol. 51	V. 11 " R—Z	(853)
Vol. 52	Mission to Japan	
	V. 1 Mission Secretary	1930—39
Vol. 53	V. 2 Mission Secretary's Bulletin	
Vol. 54	V. 3 Letters 1930 A—Z	
Vol. 55	V. 4 " 1931 A—Z	
Vol. 56	V. 5 " 1932 A—Z	
Vol. 57	V. 6 " 1933 A—Z	
Vol. 58	V. 7 " 1934 A—Z	
Vol. 59	V. 8 " 1935 A—Z	
Vol. 60	V. 9 " 1936—37 A—Z	

ABC: 16. 4. 2 Mission to Japan. Woman's Board 次次の  
 ちび分類整理をせむべし。

Vol. 1 Letters 1900—1904

Vol. 2 Japan 1909—1914, Documents & Reports; Letter A—Z

Vol. 3 Japan 1915—1920, V. 1 Documents & Reports; Letters A—F

Vol. 4 V. 2 Letters G—Z

Vol. 5 Japan 1921—1927 V. 1 Documents and Reports, Letters A—F

Vol. 6 V. 2 Letters G—Z

Vol. 7 Japan 1872—1906 Letters from missionaries A—C

Vol. 8 " " C—F

Vol. 9 " " Ga—Gu

Vol. 10 " " Gu—M

Vol. 11 " " P—W

Vol. 12 WBMP General Correspondence 1914—24

General Re. Doshisha Girls School 1911—1924

Corresp. re. Miss Clapp, Denton, Gullick, Gwinn 1918—1923

ABC: 16. 4. 3 Mission to Japan Miscellaneous の源次の  
 一巻をせむ。

Vol. 1 Letter copy-books of Correspondence written by O. H. Gullick, 1862—1889

これらを見らば、それらの文書類は一九三七年まじのもの  
 が収録されているが、一九六七年七月二十八日のポスト  
 ンの UCBWM のメモリー・ウォーカー Mary Walker の  
 ホーランド宛書簡

にちみらるゝ。次のようにその閲覧上の制限が明記されている。

1. Materials marked "Restricted" and Manuscripts of the last fifty years\* are not open to the public (\* 1969年に1910~1919年までの分が閲覧可能となり、1979年にいたって、1920~1929年の分が公開されるという規則)。
2. Reproduction of long runs of Manuscripts for deposit in other institution may be permitted only after authorization by the United Church Board for World Ministries. Reproduction of single letters or a few items (if at least fifty years old and not restricted) may be permitted by Houghton in accordance with its own rules.
3. The archives of course remain the property of the Board, as agreed in 1941.

したがって、アメリカン・ボードの文書は以下後述するよう<sup>1)</sup>に他教派の文書と比較しても、とも整理された状態の下に管理されているといえる。しかし、現在同志社大学・関西学院に収蔵されるこの文書のマイクロフィルムは一九五五年に撮影されたものであるが、一九六八年六月ホートン・アーカイブスで原文書を渉猟したさい、たまたま一緒になったケリー氏は一〇余年前の文書の状態と比較してその隅々の欠損が甚だしいことを指摘されていたが、こうなるに、マイクロフィルムに収められた当時の状態は

まは貴重なものとしなくてはならない。

さて、これらの各巻の内容についてその詳細を尽すことは別にゆずるとして、アメリカン・ボードの日本宣教開始一〇年におい<sup>2)</sup>て、開教一〇年間の文書内容の概要をしめすと次の如くである。それは当然 D・C・グリーン Daniel Crosby Greene の日本伝道任命文書からなせられるものである。以下は、その年間に該派の各巻に収められる文書ならびにその点教をめぐり、若干の注釈を記すこととする。

Vol. 1:

- 1 Instruction to Rev. D. C. Greene in relation to opening a Mission in Japan
- 2 Constitution of Japan Mission
- 3 Letter regarding Religious Toleration 1871
- 4 Appeal from Japan to secure Religious Society Org. & Min. of 1st Gen. Meeting of Japan Miss 1872
- 6 Report of Mission 1872
- 7 Letter regarding important change in Japan 1872
- 8 Annual Report of Mission for 1873
- 9 " " 1875
- 10 " " 1876
- 11 Minutes of General Meeting of Mission 1872
- 12 " Annual " 1873
- 13 " Special " " 1873

14	"	"	"	1873	40	Statistic of Japan Mission 1879
15	"	"	"	1873	41	Min. Special Meeting 1879
16, 17	"	Annual	"	1874	42	" Annual " 1880
18	"	Special	"	1874	43	Report of Secretary Japan Mission 1880
19	"	"	"	1874	44, 45	Semi-annual Report of Treasure 1879
20	"	"	"	1874	46	Report of Kyoto Station 1875-1876
21	"	"	"	1875	47	" " " " 1876-1877
22	"	"	"	1875	48	" " " " 1877-1878
23	"	Annual	"	1875	49	" " " " 1878-1879
24	"	Special	"	1875	50	" " " " 1879-1880
25	"	"	"	1875	51	Minutes of Meeting of Com. of Five with Com. of Japan 1880
26	Minutes of Annual Meeting Japan Mission 1876				52	Report Kobe Station 1874
27	"	Special	"	1876	53	" " " " 1876
28	"	"	"	1877	54	" " " " 1877
29	"	Annual	"	1877	55	" " " " 1878
30	"	Special	"	1877	56	" " " " 1879
31	Circular Letter Copy of 1877				57	" " " " 1880
32	"	"	"		58	Report Okayama Station (& 59, 60, 68* <sup>2</sup> )
33	Min. of Ann. Meeting		1878		61	" Osaka " " (& 62, 63, 64)
34	Appendix " "		1878		65	" Yokohama " "
35	Report of Native Missionary Society (Dendogaissha)* <sup>1</sup>				66	Letter from Dr. Greene to Mr. D. C. Jencks 1876
36	Min. Special Meeting		1879		67	Report from three Japanese* <sup>3</sup>
37	" Annual		1879		69	Estimate for Mission for 1874
38	Estimate for Mission		1880		70, 75, 77	" " " " 1879
39	Revised Constitution					

71	" " " " 1875	105	Copy of Letter from eight Japanese regarding their ordination
72	" " " " 1876		
73	" " " " 1877	106	Copy of Letter replying to do
74	" " " " 1878	107-159	Circular Letters
76	Special Grants for 1878	154	Letter from Drs. Taylor & Saring respecting health of Rev. O. H. Gulick
78	Report of Sanda church		
79	Report of Committee on Christian College for Japan	160	Copy of Letter from Japanese Christian Church to Christian Missionaries in Japan
80	Application for permission to open a School		
81-83	Reports Kyoto Training School	160/2	Translation of Rules of Kobe Church
84-87	" " Girls "	161	" " The Converant of the Company of the New Promise
88	Reports of Committee on Publications		
89	" " Work in Yokohama 1877 by Dr. Greene	162	Japanese Edict against Christianity
90	Copy of Letter of Rev. O. H. Gulick to Rev. S. R. Brown, Chairman of Committee for Translation of Scriptures	163	Tal. View of Prot. Missions in Japan
		164	Map of Japan
		165	Reports from Convention of Prot. Miss. ves in Japan
91	Resolution with reference to Bible Translation		
92	Repot of Com. on Publication 1879	166	New Educational Plan of Japan
93	Contents of the Japanese Christian Newspaper	167-8	Invitation to Convention at Tokyo
94	Copy of Resolution by Rev. O. H. Gulick for future conduct of Newspaper	169-174	Correspondence between Missionaries of Reformed Church, Am. Presb. Mission & Am. Board.
95-6	Annual Report of Manager of said Newspaper	175	Memorial presented by Prot. Miss. ves of U. S.
97	Japanese Calendar for 1878	176	American System of Public Instruction
98-102	Reports of Medical Work	177	Statistics of Native Churches 1879-1880
103	Report of Committee of Five 1880		A
104	English Addresses of Japanese Students**	178-226	Adams, Rev. A. H

227-230	Adams, Mrs. Sark						
231	Resolutions on death of Mr. Adams presented to United Conf. of Missionaries	1-55	DeForest, Rev. J. H.			D	
232	Letter to Rev. A. H. Adams relating to Travel	56-68	Dexter, Rev. George M. and wife				
233-234	Allchin, George	69-77	Dudley, Miss Julia E.				
235-300	Atkinson, Rev. J. S.	78-84	Gardner, Miss Fannie A.			G	
301-303	Atkinson, Mrs. Carrie	85-161	Gordon, Rev. M. S.				
Vol. 2:		162-166	Gouldy, Miss Mary E.				
		167-283	Greene, Rev. D. Crosby				
		284-304	Gulick, Rev. John T.				
1-11	Barrows, Miss Martha J.	305-310	Gulick, Miss Julia A.				
12-108 & 111	Berry, John C.	311-318	Gulick, Rev. Suther H.				
109-110	Berry, Mrs. Maria G.	319-492	Gulick, Rev. Orramel H.				
112-112 1/2	Cady, C. M.	493	Gulick, Mrs. Annie E.				
113-138	Cary, Otis	Vol. 4:					
139	Cary, Mrs. Ellen M.						
140-156	Clarkson, Miss Virginia A.	1-63	Jencks, DeWitt C.			J	
157-170	Curtis, W. W.						
171-172	Curtis, Mrs. Delia S.	64-70	Kellogg, E. Louise.			K	
173-179	Davis, Miss Anna Y.	71-146	Learned, Dwight W.			L	
180-376	Davis, J. D.	147-199	Leavitt, H. H.				
377-400	Davis, R. H.						
Vol. 3:		200-208	Neesima, Jos. H.			N	

209-221	Parmelee H. F.	P
222-237	Pettee, Jas. H.	
		S
238-244 1/2	Starkweather Alice J.	
245-252	Stevens, F. A.	
(324)	" " " (Misplaced Letter)	
		T
253-307	Taylor, Wallace & Mrs. Mary W.	
308-325	Talcott, Eliza	
		W
326-329	Wheeler, Justina E.	
303-341	Wilson, Julia	
		Miscellaneous
345-356	Janes, L. L.	
357	Loomis, Henry	
358	Loomis, J. H.	
342-344	Hardy, A. V.	
359	McLean, J. K.	
360, 361	Yamanaka Katō	
Vol. 5.		
1-20	Minutes of Annual Meetings	
21-60	Annual Reports*	
154-199	Miscellaneous Reports, See Vol. 2 Japan 443	
Vol. 6.		

1-11	Reports of North Japan
12-49	Statistic, Estimates and Tabular Views
50-138	Circular Letters
139-143,293	Government Correspondence
144-153	Union of Churches
154-199	Miscellaneous Reports* (See also Vol. 3. Japan 442)
200-225	Shed, Miss Mary H. Letter of
8	Scudder, Doremus
60	Learned, Rev. D. W. (July 16, 1884)
114, 116	Berry, Dr. D. C.
225-279	Miscellaneous Documents*
280-296	Japanese Citizens, Letter from*

\* 1 新島襄書簡 Joseph H. Neesima's Letter, Arima June 24, 1878  
同志社生徒の各地伝道のための給字支給報告

\* 2 森田久蔵人書簡 Morita's Letter, Oct. 6, 1877

\* 3 岡田松生と河辺久治書簡, 小樽弘道書簡, 吉田作弥書簡

\* 4 1879年6月13日付, 差出人は明記がないが明らかに同志社のデズ  
マスであって, 第一回卒業式における Scientific Education in  
Japan と題した山崎為徳の演説と榎井時雄の演説をコピーした  
の幹事クラークに送ったもの。

\* 5 Annual Report のはじまることをあらわす色紙が挿入しており,  
次に無番の和紙 (浪花教会用箋) 4枚があり, 格調のある毛筆で浪  
花教会の報告が収められている。

\* 6 同志社の報告が多く含まれている。とくに No. 189 The First

Annual Report of the Doshisha Hospital and Training School for Nurses. April, 1887, No. 192 12th Doshisha Report by Learned, May 1, 1889, No. 193 13th Doshisha Report, No. 194 3rd Report of the Doshisha Hospital などがある。

\* 7 No. 226 彰業館の新築されたときの同志社の略図、無番で明治18年8月の京都の第一・第二公会など、のちの組合教会のボーディング会に対する謝辞、No. 231 Plan of Grounds and Building of Doshisha Hospital and Training School for Nurses, No. 249 Statement showing the urgent necessity of establishing a Christian Medical School, Hospital and Training School for Nurses in Japan など同志社病院関係の報告が多い。

\* 8 No. 280-284 横井時雄、No. 285-288 小崎弘道、No. 291-295 西川鑑輝らの英文書簡である。

## 2 オランダ改革派宣教師関係文書

所在 Gardner A. Sage Library, Theological Seminary,  
New Brunswick, New Jersey

ニュージャージー州ラリタン Raritan 川のはたりにあるニュー  
ブラウンズウィックはフルンマキ Guido Fridolin Verbeck と  
オランダ改革派幹事フェリス John Mason Ferris の斡旋で幕末  
以来数多くの日本人留學生が学んだところである(拙稿「横井左平  
太と横井大平のアメリカ留学」同志社人文科学研究所発行『社会科学』一  
号一九七〇掲載予定)。

この神学校はリトガース大学 The Rutgers-State University  
のキャンパスにあり、この大学の中央図書館にはウィリアム・E・グリフスの文書が特殊コレクションとして収蔵されている  
ことについては梅溪昇氏の報告もある(『日本歴史』一八七号)。おじ  
オランダ改革派の宣教師は一八九五年前記フルンマキが長崎で  
ラリタン Samuel R. Brown、シモンズ Duane B. Simmons  
が横浜でそれぞれ開始された。長崎のステール・アカデミー  
Steele Academy のちの東山学院、横浜のフェリス女学校、東京の  
明治学院が同派の宣教師の成果であることはよく知られている。  
こうした同派の宣教師にたずさわった人は明治年間に七十七人  
に達する(Reformed Church in America; Historical Directory  
1628-1965, Published by Commission on History Reformed  
Church in America New Brunswick, 1966, pp. 344~345)。キ  
の報告書簡の質量ともにアメリカン・ボードのそれと比較して遜  
色がない。閲覧ならびに史料の使用、マイクロフィルム化に関して  
も、アメリカン・ボード文書と同じような仕組になっているが、  
年代の制限はない。

さて、その文書は次のように分類されているが、ホートン・ア  
ーカイブスのそのように綴じ込みされて巻冊の体裁をとらず、  
また、すべて収納紙箱にホルダーに収めて収蔵されている。し



だんごいびきなどの大體田邊が主ならしむるなり。但しこのなかでこの  
ものは大體の大分縣にあり。

- 741 Japan Mission, Minutes and Reports 1878-1909,  
1 Box
741. 2 North Japan Mission, Yokohama Station Minutes  
1 Vol.
741. 3 South Japan Mission, Nagasaki Station Minutes,  
1886-1898, 1 vol.
741. 7 Japan Mission, Minutes 1917-1939, 2 vols.
- 743 Japan Mission, Correspondence 1869-1888: 1916-  
1940, 8 Boxes
743. 2 North Japan Mission, Correspondence 1889-1916,  
4 Boxes
743. 3 South Japan Mission, Correspondence 1889-1916  
3 Boxes
- 744 Japan Mission Papers, 1858-1947, 1 Box
744. 2 Japan Mission Papers, 1876-1919, 1 Box
744. 5 Japan Mission, Scrapbook of clipping from Church  
Herald about Japan Mission 1940-64, 2 vols.
745. 2 North Japan Mission, Tokyo Station Account Books  
1878-1887, 2 Vols.
745. 3 North Japan Mission, Yokohama Station Treasures  
account of evangelistic work 1878-1887, 1899-1905,  
2 Vols.

745. 4 North Japan Mission, Yokohama Station Church  
Property found Cash Book 1878-1887, 1 Vol.
745. 5 South Japan Mission, Nagasaki Station Cash Book  
1869-1887, 1 Vol.
- 746 Japan Mission, Meiji Gakuin Papers 1888-1904,  
1 Box.
747. 2 Japan Mission, Ballagh, James H. 1832-1920 Pa-  
pers, 3 Boxes.
747. 3 Japan Mission, Brown, Samuel R. Papers, 4 folders,  
Miller, Edward R. Papers, 3 folders, Simmons, D.  
B., 2 folders, Verbeck, Guido F. Papers, 1 folder
- この大體の大體の田邊が主ならしむるなり。但しこのなかでこの  
ものは大體の大體の大分縣にあり。
- 741 の一冊に二種の文書があり、一は Annual Re-  
ports, Minutes, etc. of various Stations, Schools, and Orga-  
nization 1883-1909 一冊、一は Minutes of Annual Meeting  
along with Annual Reports and the Constitution of the  
Board of Missions of the Daiikai of the Union Church of  
Christ in Japan 1878-1887 一冊。
- 741.2 の一冊に綴じられた、一八七二年五月二二日の横浜ステーションの會議録、やまじい一八七五年九月二九日から一八九八年四月  
九日までの同會議録 Yokohama Station Minutes of the Japan  
Mission of the RCA 一冊あり。

741.3 は同じく一八八六年一〇月一九日から一八八八年一月三日までの長崎ステーションの会議録 Minutes of the Nagasaki Station, RCA Mission である。

741.7 Vol. 1 は一九一七年一月三日から一九三三年七月二五日まで、Vol. 2 は一九三三年七月一日から一九三九年七月二日までの会議録である。

743 はすべて八箱の収納箱に各宣教師の書簡が概ね年代順にならべられて収められている。

Box 1 一八六九年九月～一八八六年一月、一八七〇年一月～一八七三年二月、一八七四年一月～一八七八年二月、この書簡はボードの幹事フェリス J. M. Ferris にあてたものである。

Box 2 一八七四年七月～一八八三年八月の書簡。

Box 3 一八七八～一八八一、一八八一～一八八三、一八八四年一月～一八八五年一月の書簡。

Box 4 一八八五年一月～一八八六年二月、一八八七年一月～一八八八年二月の書簡で、主としてコブ、ヘンリー Nitchie (1883～1910, Secretary of Board of Foreign Mission) あつたものである。

Box 5 一九一六年七月～一九一九年一月、一九二三～一九

二五年の書簡

Box 6 一九二六～一九二八、一九二九～一九三二の書簡で主としてチャムベリン Chamberlain, William Isaac (1910-35, Secretary of Board of Foreign Mission) にあつたものである。

Box 7 一九三二～一九三四、一九三五～一九三七、一九三七～一九四七の書簡を収めており、戦時下の外人宣教師の活動を報ずる貴重な書簡であるが、その数はきわめてすくない。

Box 8 一九二五年八月～一九三五年八月、一九三五年八月～一九四〇年八月の書簡、前項と同様である。

743.2 はすべて四箱におさめられた横浜ステーション所属宣教師の報告書簡である。

Box 1 一八八九～一八九一、一八九二～一八九五、一八九五～一八九八、

Box 2 一八九八～一九〇一、一九〇一～一九〇三、

Box 3 一九〇三年七月～一九〇六年二月、一九〇七～一九〇八、一九〇九～一九一一、

Box 4 一九一二年一月～一九一三年二月、一九一四年一月～一九一六年一月。

743.3 はすべて三箱におさめられ長崎ステーション所属宣教師

の報告書簡である。

Box 1 一八八九〜一八九三、一八九三年九月〜一八九七年一月。

Box 2 一八九八〜一九〇一、一九〇二〜一九〇三、一九〇四〜一九〇八。

Box 3 一九〇九〜一九一〇、一九一一〜一九一二、一九一三、一九一四〜一九一六

744 Japan Mission Papers の下の一箱は、*やまのふいばつをへ*、*次ごかかげ*、*やまのふいばつ*。

Letters Establishment of A Mission in Japan 1858, 1859 Mission Reports 1878

1. Report for Yokohama by S. R. Brown
  2. Report for Nagasaki by H. Stout
  3. Report for Tokyo by J. Amerman
  4. Report by E. R. Miller
  5. Report of the "Senshi Gappo" preparatory School
  6. Financial Report and Comparison of Estimate & Receipts
- Miscellaneous Letters
1. Letter to Board of Foreign Mission from students at New Brunswick Seminary 1873
  2. Letter from C. A. Clark 1893

3. Letter from A. Pieters 1896
4. Letter from A. Pieters, Dec. 1896
5. Letter from Mary Deyo to Mr. Wyckoff 1897
6. Letter report of visit to the Japan Mission Fields by Rev. F. G. Scudder 1897

Clipping of Japan Mission (Corwin Collection)  
Papers Concerning Ferris Seminary

1. Report of Ferris Seminary for 1877
  2. Proposition by Mr. Booth for the Union of Ferris Seminary with the Woman's Union School
  3. Joint Committee Report on Ferris Seminary compared with that of Sturges Seminary
  4. Papers concerning the matter of Supported pupils at Ferris Seminary
  5. Statements in regard to policy change at Ferris Seminary
  6. Drawings of buildings and grounds
  7. Description of Ferris Seminary
  8. Report of Ferris Seminary for 1878
  9. Ferris Seminary Financial Statement, 1878
- Citizenship of Rev. Verbeck—Letter from Secy. of State, Blaine 1890
- Letter from J. S. Chapman, 1862, Establishment of Scriptures in Japanese
- Letters—A Christian University in Japan 1900

Correspondence among Stout, Pieters and Deeke 1902-1903  
 Correspondence between Chamberlain & Walvoord 1912-1914

Report & Letter from Union Church, Yokohama 1901, 1906

Papers—Dr. Wyckoff's Death 1911

Papers—Owning Property in Japan 1901, 1903, 1907

Papers concerning Lot 167 in Yokohama 1884-1918

Papers concerning Japan Property 1942-1947

Association of Missionaries in Japan

Miscellaneous Papers

1. Council of Missions Committee Letter to the Board, 1899
2. Letter from William Imbrie incorporation, 1901
3. Papers—School for Foreign Children in Tokyo
4. Papers—Sendai Christian Orphanage
5. Japanese Writing
6. Papers—Semi-Centennial Conference in Tokyo, 1909
7. Invitation to Meeting of the Association of Japanese Religionist 1906
8. Papers—Islam and Japan by Dr. Imbrie 1906
9. Papers—House-Rents in Japan
10. Plan of Ministerial Relief
11. Report on Christian Work in Japan, 1902
12. List of the graduates of Steele College

Miscellaneous Minutes and Reports

1. Minutes of the Chin-kuwai, 1878
2. Publication Account Report, 1881
3. Church Property Fund Report, 1881
4. Fifth Annual Report of the Council of the three Missions, 1881
5. Fifth Annual Report of the permanent Instructor of the Union Theological School, Tokyo, 1881

744.2 日本基督教聯合會の報告書  
 日本基督教聯合會の報告書

Committee Report—Church Union (United Church of Christ in Japan and Congregational)

Correspondence, Reports—Cooperation with Church of Christ in Japan, 1906-1908

Papers—Mission Cooperation in Japan, 1907  
 Ditto—1908

Correspondence—1907  
 Rules of Government Adopted by Chin-Kuwait of the Church of Christ of Japan, 1876

744.5 日本基督教聯合會の報告書  
 日本基督教聯合會の報告書

745.2 日本基督教聯合會の報告書  
 1878-1887 日本基督教聯合會の報告書  
 1878-1887 日本基督教聯合會の報告書

しゆ。

745.3 冊 明治 Evangelical Work of the Yokohama Station, Japan Mission of the RCA, 一八七八年一〇月一日から一八八七年十二月二日までの会計簿、もう一冊は同じく横浜ステーションの Ledger of Evangelical Work 一八九九年一月一日に はじまり一九〇五年五月にわたるものしゆ。

745.4 冊 横浜ステーションの現金出納簿一冊しゆ。

745.5 冊 横浜ステーションの現金出納簿一冊しゆ。

746 冊 明治学院文書、Correspondence, 1888-1904 のほか、明治学院財団法人寄付所為に關するもの、井深樞之助の傳記に關する書類など。

746 冊 英文書、手紙三冊、手帳、中、日本人のペン習字簡など。

Box 1 Reminiscences of his Fifty Years in Japan. Financial Records, Papers & Letters in Japanese, Diaries (1858), Sermons and Sermon Notes, Reply to Charge of Inhumanity in Newspaper, 1883, Japanese Proverbs, Accounts 1859-1874

Box 2 Papers collected by W. E. Griffis for Biography of Ballagh, Letters from students and friends of Ballagh, 1866-1921, Letters from the Board to Ballagh 1867-1898,

Letters from Ballagh to the Board 1861-1870, Correspondence from Ballagh to the Board 1917, Correspondence from the Board to Ballagh 1917

Box 3 日本書籍(大日本開闢出来記)、地図ならびにカーンマン、アンスマ、マッタ、留學の日本人学生達が横浜のシラ夫人に贈った写真などをあつめたものしゆ。

747.3 冊 トラマン、マコー、キン、ノニヤ、キ國係の書類をあつめたもの。また、Letters from S. R. Brown to the Board 1859-1880, Papers Dr. & Mrs. D. B. Simmons 1859-1861, Ledgers Report by S. R. Brown, Treasurer of the Mission 1859-1867, Accounts kept by G. F. Verbeck 1859-1863, Correspondence, Edward R. Miller 1884-1909, Letters to S. R. Brown from the Board 1860-1867, Letters from Verbeck-Censorship of Press & Japanese Law 1871, 1872, Letters from G. F. Verbeck 1860-1866

トマン、改革派の文書は実質的な整理をトマン・ホードのせいで得られず、散乱した心配があるが、文書を一つ一つ点検して興味をひくのは、シリマンスが同派宣教師の伝記を書いたために、それをとって渉猟したものが認められることしゆ。なか、従来熊本洋学校招聘教師として来日したカーンマン Leroy L. Jones の来日当初の書類などは、ついでに、ついでに発見したものがあつたもの

である(拙稿「エル・エル・ゼーンズについて」『小葉田淳先生追憶記 全国史論集』所収)。

### 3 聖公会関係文書

所在 Church Historical Society, The Episcopal Theological Seminary of the South-West, 606 Rathervue Place, Austin Texas

日本におけるアメリカ聖公会系 The Protestant Episcopal Church of the United States の初期の伝道活動については元田作之進『老監督ウイリアムズ』でその展開過程を知ることができ、同派宣教師リギンズ John Liggins (林約翰) の日本に関する活動はごく短期間ではあるが、英語教育以外なお明らかでない点が多く、また、東京開成学校の教師をいつとめるサイル Edward W. の記録、こちらに大阪へ自給伝道を展開したところのキリス Arthur R. Morris の活動など従来本格的に究明されることがなかった。しかも、同派の宣教が当初において長崎、さらには大阪を拠点としながら、のち東京にその中心を移した理由にはどのようなことがあったか明確でない点が多い。しかも、オースチンペン、ウイリアムズ Channing Moore Williams の大量の報告書簡を見るにおよんで、元田作之進の業績を越える複雑な道を

思ったことであつた。

同派の文書は収納箱に収められたまま、また未整理の状態にあり、マイクロフィルム化の計画も目途がない状態にある。これらの文書は日本はいままでもなく、アメリカでも探訪利用することがほとんどおこなわれず、トビヤンン James Thayer Addison の The Episcopal Church in the United States 1789-1931; Charles Scribner's Sons, New York, 1951 による同文書を参照した叙述はまったく行なわれていない(二三九〜二四〇頁)。

さて収納箱におさまられている文書の大要は次の如くである。箱の番号は仮に付したものである。

1. Bp. C. M. Williams, Correspondence & Biography\*1  
1870-1879, 9folders
2. Bp. C. M. Williams, Correspondence 1880-1889\*\*2
3. Bp. C. M. Williams, Correspondence 1890-1900, 6folders
4. Japan Mission, Correspondence, 16 folders  
William B. Cooper Correspondence 1873-82 (5)  
John Davis Correspondence 1895-1897 (1)  
Isaac Doorman Correspondence 1887-1895\*\*3 (10)
5. Japan Mission, Correspondence, 16 folders  
Mary Malles, Corres. 1884-1896 (4)  
Irene P. Mann, Corres. 1895-1896 (1)  
Margaret L. Mead, Corres. 1881-1883 (1)

- Belle T. Michie, Corres. 1880-1890 (3)
- G. D. B. Miller, Corres. 1872-1875 (1)
- John H. Maineux, Corres. 1884-1887 (1)
- Arthur R. Morris, Corres. 1870-1878 (5)
6. Japan Mission, Correspondence, 7folders
- Emma Verbeck, Corres. 1884-1898 (2)
- Martha Aldrick, Corres. 1893-1898 (1)
- Leila Bull, Corres. 1894-1901 (2)
- Emma Williamson, Corres. 1884-1893 (1)
- J. D. Wara, Corres. 1890 (1)
7. Japan Mission, Miscellaneous, 3folders
- Miscellaneous\*# 1894 Jan. 3-Aug. 17 (1)
- J. L. Patton, Corres. 1891-1901 (2)
8. Japan Mission, Correspondence, 16folders
- Isaac Doornan, Corres. 1895-1898 (3)
- Neillie Eddy, Corres. 1874-1876 (1)
- Rebecca F. Fall, Corres. 1884-1885 (1)
- Joseph M. Francis, Corres. 1888-1898 (5)
- James McD Gardiner, Corres. 1880-1887 (6)
9. Japan Mission, Correspondence, 15folders
- Arthur R. Morris, Corres. 1878-1892 (8)
- Charles H. Newman, Corres. 1872-1874 (2)
- Henry D. Page, Corres. 1874 (5)
10. Japan Mission, Correspondence, 10folders
- Leila Bull, Corres. 1888-1893 (2)
- J. Thompson Cole, Corres. 1883-1890 (8)
11. Japan Mission, Correspondence, 10folders
- J. Thompson Cole, Corres. 1890-1894 (10)
12. Japan Mission, Correspondence, 14folders
- J. Hamilton Quinby, Corres. 1872-1883 (7)
- Sarah L. Riddick, Corres. 1882-1889 (4)
- Fanny J. Shaw, Corres. 1884-1885 (1)
- Sarah S. Sprague, Corres. 1888-1893 (2)
13. Japan Mission, Correspondence, 16folders
- Henry D. Page, Corres. 1889-1894 (9)
- Mildred Page, Corres. 1890-1893 (1)
- Caroline Palmer, Corres. 1888-1893 (1)
- J. Lindsay Patton, Corres. 1890-1891 (1)
- Anna M. Perry, Corres. 1891-1893 (1)
- Fannie Perry, Corres. 1891 (1)
- Florence Pitman (Mrs. James M. Gardiner), Corres. 1877-1884 (2)
14. Japan Mission, Correspondence, 14folder
- Masakazu Tai (田井正一), Corres. 1888-1898 (1)
- Theodosius S. Tying, Corres. 1878-1885 (13)
15. Japan Mission, Correspondence, 17folders
- R. Ford Heath, Corres. 1889-1894 (3)
- D. T. Huntington, Corres. 1895 (1)
- Henry S. Jefferys, Corres. 1890-1899 (3)
- Nobori Kanai (金井登) Corres. 1885-1886 (1)

- Henry Laning, Corres. 1873-1892 (6)  
Victor M. Law, Corres. 1888-1889 (3)
16. Japan Mission Correspondence, 15folders  
James McD Gardiner, Corres. 1888-1892 (5)  
Ida Coop Corres. 1890-1895 (4)  
A. D. Gring, Corres. 1891-1893 (4)  
Frank W. Harrell, Corres. 1883-1884 (2)
17. Japan Mission Correspondence, 7folders  
Victor M. Law, Corres. 1889-1891 (4)  
Lisa Lowell, Corres. 1890-1898 (2)  
May V. McKim, Corres. 1889-1892 (1)
18. Japan Mission Correspondence\*<sup>ns</sup>, 3folders  
Theodosius S. Tying, Corres. 1885 (3)
19. Japan Mission Correspondence, 5folders  
E. R. Woodman, Corres. 1880-90, 1891-98 (2)  
William H. Hare, Corres. 1891-1893 (1)  
John Davis, Corres. 1896-1898 (1)  
I. K. Yokohama, Corres. 1878, 1880 (1)
20. Japan Mission, Correspondence, 3folders  
H. D. Page, Corres. (1)  
A. D. Gring, Corres. 1893 (1)  
Theodosius S. Tying, Corres. 1899-1901 (1)
21. Japan Mission, Correspondence  
Rudolf B. Tensler, Corres. 1899-1901  
J. A. Welburn, Corres. 1899-1900
- E. R. Woodman, Corres. 1898-1901  
W. S. Jefferys, Corres. 1898-1903  
A. Theodora Wall, Corres. 1899-1901  
James Rhappell, Corres. 1898-1901  
H. G. Lineric, Corres. 1898-1902  
Geroge Wallace, Corres. 1898-1901  
W. F. Madely, Corres. 1899-1901  
Arthur Lloyed, Corres. 1898-1903, 1894-98  
Chas F. Sweat, Corres. 1898  
Arthur R. Morris, Corres. 1893-1896  
C. H. Evans, Corres. 1897-1898, 1899-1901  
I. P. Wann, Corres. 1896, 1900-1901  
Henry Laning, Corres. 1890-1898, 1898-1901  
C. M. Cutting, Corres. 1897-1898  
J. McD Gardiner, Corres. 1893-1897, 1899-1901  
Emma William, Corres. 1898-1902  
I. H. Rotrell, Corres. 1901  
Kyoto Miscellaneous May, 1901  
Isaac Dornan, Corres. 1899-1901  
Georgiana Suthon, Corres. 1898-1901  
R. S. Reifsnider, Corres. 1901  
G. Suthon, Corres. 1889-1897  
B. R. Babeock, Corres. 1897-1898  
A. W. Rooke, Corres. 1898-1900  
R. F. MacMadam, Corres. 1900-1901



- Plara J. Neely, Corres. 1899-1900  
 Chas F. Sweat, Corres. 1898-1901  
 R. W. Andrews, Corres. 1899-1901  
 Tokyo Miscellaneous 1899-1901  
 I. Lovell, Corres. 1899-1901
22. Japan Mission, Correspondence, 13folders  
 Martha Aldrich, Corres. 1888-1891 (1)  
 John C. Ambler, Corres. 1889 (5)  
 Annie Blancket (Mrs. Clement T.) Corres. 1882-1884 (1)  
 Clement T. Blancket, Corres. 1873-1885 (6)
23. Japan Mission, Correspondence, 2folders  
 J. C. Ambler, Corres. 1898-1901  
 Sally Perry Peck 1900-1901  
 James J. Phapman 1899-1901  
 C. S. Reifsinder 1904-1906  
 Williams 1904-1906  
 Partridge 1900-1901  
 A. D. Gring (Kyoto District) 1898-1901
24. Japan Mission, Correspondence (Box A)  
 J. C. Ambler, Corres. 1901-1904  
 Williams (Bishop), Corres. 1902-1904  
 Theodosius S. Tying, Corres. 1902-1904  
 Georgiana Suthon, Corres. 1903-1904  
 Sally Perry Peck, Corres. 1903-1904  
 Mary E. Metzler, Corres. 1902-1905
- Martha Aldrich, Corres. 1900-1904  
 Lella Bull, Corres. 1901-1904  
 John Reifsneider, Corres. 1902-1904  
 Henry Laning, Corres. 1902-1904  
 William J. Cuthbett, Corres. 1902-1904  
 I. H. Carrell, Corres. 1901-1904  
 C. S. Reifsneider, Corres. 1902-1904  
 A. D. Gring, Corres. 1902-1904  
 James J. Chapman, Corres. 1902-1904  
 J. Linding Patton, Corres. 1901-1904  
 Isaac Dorman, Corres. 1902-1904  
 Partridge (Bp.) 1901-1904
25. Japan Mission, Correspondence (Box B)  
 Bp. McKim, Corres. 1900-1904  
 Miscellaneous 1902-1904  
 Chas I. Sweat, Corres. 1902-1904  
 C. F. Macadam, Corres. 1902-1904  
 Lula Boyd, Corres. 1902-1904  
 A. Fbevadora Wall, Corres. 1901-1904  
 Clara J. Neely, Corres. 1902-1904  
 B. R. Babcock, Corres. 1902-1904  
 J. McD Gardiner, Corres. 1902-1904  
 Rudulf B. Teusder, Corres. 1902-1904  
 Tokyo District, Corres. 1902-1904  
 A. W. Cooke, Corres. 1902-1904

番号を手えた。

\* 6 雑の部で、宣教師の個人別の仕分がなされていない。

#### 4 バプテリスト関係文書

所在 American Baptist Foreign Mission Society Valley Forge, Pennsylvania  
American Baptist Historical Society Colgate-Rochester Divinity School, Rochester New York

‘ハンブリーンの朝日基督教のアメリカのバプテリスト協會 The Philadelphia Baptist Association が組織されたのは二五〇年

の以前のソルビヤのアメリカン・バプテリスト海外伝道協會 The American Baptist Foreign Mission Society として知られる National Baptist Missionary が組織されたのは一八一四年ハンブリーンのキリスト教のバプテリストに於てはハンブリーンのキリスト教の歴史的地じやあ。ソルビヤは、一八六〇年に来日したシメオン・ジョナサン Jonathan Gobel (トメリカ自由バプテリスト) 一八七三年に来日したネーサン・ブリアン Nathan Brown (アメリカ北部バプテリスト) 一八八九年来日のフローレント J. W. McCollum (アメリカ南部バプテリスト) 一八九一年に来日した婦人宣教師アンニー Annie S. Buzzell など同派宣教師の報告書簡類が収蔵されているが、これらの書簡

W. F. Madeley, Corres. 1901-1904  
George Wallace, Corres. 1902-1904  
St. St. George Tucker, Corres. 1902-1904  
R. W. Andrews, Corres. 1902-1904  
Charles H. Evans, Corres. 1902-1904  
James Chappell, Corres. 1902-1904  
E. R. Woodman, Corres. 1902-1904  
Arthur R. Morris, Corres. 1903-1904  
26. Japan Mission \*6  
Kyoto Report 1904-6, 1907-1910, Tokyo Report 1907-1910. Japan 1925, 26, 27, 28, St. Luke's Tokyo List 7  
Contribution Letters pledges 1929-1932, Miscellaneous

\* 1 伝記には John C. Amber; A Sketch, Percy A. Smith のものが収められている。

\* 2 1889年の2月5日、3月15日付の書簡には憲法発布のことは言及していない。1881、1882年度の書簡には Annual Report も同封されている。

\* 3 Doorman; The present and future Religion of Japan, 1894 (草論) が書簡とともにおさめられている。

\* 4 Report on St. Margaret's School for the Year 1898~1899, Tokyo, Aug. 12, 1899, Principal of the School 米國監督教會伝道會社に關係ある日本人有志者 主にありて愛する兄弟なる米國の貴女紳士諸君に贈るの書 (毛筆, シング Theodosius Tyng の立教女學校の募金運動に托したも) などがおさめられている。

\* 5 箱のラベルが欠落しているが、年代的に配列された書簡からこの

は Confidential で部外のものには閲覧をさせない制度になっていて、筆者はこれを検索調査することができなかった。ただし瞥見したところ、すでにその整理はゆきとどいてファイルされてスチール・ケースに収納せられ、また、マイクロフィルム化が進められてゐることも伺った。秘書補のロバート・クレーパー Robert F. Cramer ならびに司書のシラワン Miss Brown に依頼し上述の宣教師たちの書簡点数ならびにその日付を偶目したところによると、ゴープルの書簡は一八七二年二月一六日付のもの一通、プゼルの書簡は一九〇六年、一九〇七年の二通にすぎず、とくに後者のプゼル伝道に関しては、日本人牧師中島力三郎、かれから受洗した吉野作造や内ヶ崎作三郎に関してその奉教経過についてのプゼルの係り合いなどを知ることができるのではないかと期待していただだけにその失望は大きかった。

なお、ロチェスターのバプテスト歴史協会では、その収蔵するバプテスト派宣教伝道に関する原文書はごく少量であったが、ここでは心よくゼロックス・コピーを許してもらった。収集した主な史料は次のやうなものである。

1. Jonathan Goble's Letters Nov. 17, 1865, Oct. 28, 1871, No date
2. 聖句 色カード六葉 (和文、英文併用)
3. Otis Cary's Letter to C. W. Clement, March 22, 1912

4. ditto; June 5, 1912

5. J. H. Arthur; The Women of Japan, Boston, Woman's Baptist Missionary Society 1880

#### 5 長老派・改革派関係文書

所在 Historical Foundation (The Historical Foundation of the Presbyterian and Reformed Churches Incorporated), Montreal, North Carolina

アマッシュビル Asheville から急行バスで三〇分、ブラックマウンテン Black Mountain から約一マイルの山間部にギンタリートの Historical Foundation がある。隣接して Montreal-Anderson College はあるが教派の集会在夏期にひらかれるとき以外は、まったく閑散とした部落というにふさわしいモンタリートは長老派・改革派に関する図書館・博物館・文書館の性格をもった Historical Foundation でその命脈をたもっているやうなものである。

トーマス・スペンズ・シヤノン Thomas Hugh Spence Jr. 著 The Historical Foundation and Its Treasures, 1956 にあるやうに収蔵される文献・文書類の主なものがかかげられているが、日本伝道に関する記述はなく、その所蔵する日本伝道関係文書は注目されていない。しかし、高知伝道にたずさわった

リナン(俱利南) Randolph Bryan Grinan が家蔵してゐた史料が寄付されておリ、その量はすつして多くはないが、看過できぬものをあつてゐる。

これらの文書類はほとんどセロックス・コピーまたはマイシロフィルムで入手することができた。以下はリナン関係を中心にした文書リストである。

1. R. B. Grinan's Letters 1886-1898
2. Treasurer's Record 1893-1896 (Tucker Graham)
3. Pastoral Records 1897-1904 (Tucker Graham)  
美<sup>14</sup> Treasurer's Book, Takamatsu, Sept. 1, 1893 である。  
4. 日本基督高知教会小会書状(リナン宛) 一八九三年八月二二日付)
5. Minutes of the Regular Meeting of the Missionary Association of Central Japan (held at Osaka); Dec. 16, 1890, Oct. 12, 1891, Dec. 15, 1891, Mar. 15, 1892, Dec. 13, 1892, Mar. 14, 1893, Oct. 10, 1893, Dec. 12, 1893, Feb. 10, 1894, Oct. 13, 1896, Dec. 14, 1897, Mar. 15, 1898.
6. Confession of Faith of the Church of Christ in Japan  
——First draft with pen notes suggesting alterations made by Rev. Wm. Imbrie
7. Confession of Faith of the Church of Christ in Japan  
——With changes & etc. in hand writing of Dr. Wm. Imbrie

8. R. B. Grinan; Feudal Land Tenure in Tosa, Jan. 1893
9. 日本基督一致教会大会記録(第二回、第四回、第五回付臨時大会、第六回、第七回)、日本基督教会大会記録(第八回)、浪花中会記録(一八八六年秋期、一八八七年四月、第五回、第六回、第九回、第十回付臨時中会、第十二回、第十三回、第十四回、第十五回、第二十一回)、鎮西中会記録(明治二八、二九年)、日本基督憲法並細則付録(明治二一年五月)、日本基督聯合教会憲法(明治二二年四月)、日本基督聯合教会規則(明治二二年三月)

なお、リナンにひつぱり J. C. Grinan の手紙、"Randolph Bryan Grinan" (Norfolk, Virginia, 1952) と云ふ簡単な伝記があるが、日本側の史料によつて検討を要する宣教師であると思われぬ。また、日本基督教会の信仰告白に関するインブリーの書き込みのある草案などは教派合同問題に関する宣教師側の原文書によつて究明を要することがもとめられてゐる段階にあつて、新しう示唆をいふものゝことである。

## 9 日本基督関係文書

所在 The Presbyterian Historical Society (Office of the General Assembly, The United Presbyterian Church in the United States of America) 425 Lombard St. Philadelphia

この派の文書は前述の高谷氏のヘボン書簡集でその一部を伺うことができることになっているが、すでに全文書の整理を完了し、そのマイクロ・フィルム化も進められているので、その全様を伺うことができる。ただし、同文書のマイクロ・フィルム化にあたって、その段階ですでに断簡化し、断片となったものを廃棄の措置をとったことを耳にしたことは歴史研究の上できわめて遺憾なこととしなくてはならない。さて、マイクロ・フィルムになった文書類の複製、出版などについては、協会の許可を要することは、アメリカン・ボードのそれと同様である。

以下は開教以来一八六八年秋までの各宣教師の報告書簡の仮目録である。これはすでにマイクロ・フィルム化するにきた、簡単な内容項目をタイプし、年次別の書簡部分のちぎれた同時に撮影されていゝものをやむに略記したものである。

- Japan Letters 1859-1868
1. James Curtis Hepburn, Correspondence, Nov. 22, 1859, Kanagawa (以下略号であらわす。)
  2. J. C. Hepburn, Corres. Sept. 29, 59, Shanghai
  3. ditto; July 19, 59, Shipboard
  4. ditto; Aug. 6, 59, Hong Kong
  5. ditto; Oct. 20, 59, Kanagawa
  6. ditto; Jan. 10, 60, "
  7. ditto; Feb. 6, 60, Yedo
  8. ditto; May 14, 60, Kanagawa
  9. ditto; June 5, 60, "
  10. ditto; June 15, 60, "
  11. ditto; July 12, 60, "
  12. John L. Nevius, Corres. Aug. 7, 60
  13. J. C. Hepburn, Annual Financial Report, Oct. 1, 60
  14. J. C. Hepburn, Corres. Oct. 8, 61, Kanagawa
  15. ditto; Oct. 18, 61, "
  16. ditto; Dec. 26, 60, "
  17. ditto; Annual Report (Treasurer) Oct. 1, 61
  18. ditto; Mar. 11, 61
  19. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. March 15, 61, Philadelphia
  20. J. C. Hepburn, Corres. March 26, 61, Kanagawa
  21. ditto; April 17, 61, Kanagawa
  22. ditto; May 17, 61, "
  23. ditto; June 22, 61, "
  24. ditto; July 11, 61, "
  25. ditto; Sept. 8, 61, "
  26. ditto; Financial Report, Oct. 2, 61
  27. ditto; Oct. 2, 61, Kanagawa
  28. ditto; Nov. 12, 61, "
  29. J. Leighton Wilson, Corres. Nov. 23, 61
  30. J. C. Hepburn, Corres. Dec. 27, 61
  31. D. E. McCartee, Corres. Dec. 30, 61, Kanagawa

32. J. C. Hepburn, Corres. Jan. 13, 62, "
33. ditto; Jan. 27, 62, "
34. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. Feb. 2, 62 N. Y.
35. J. C. Hepburn, Corres. Feb. 21, 62, Kanagawa
36. ditto; Feb. 24, 62, "
37. ditto; March 2, 62, "
38. ditto; April 12, 62, "
39. ditto, April 23, 62, "
40. ditto; May 27, 62, "
41. ditto; June 30, 62, "
42. ditto; July 8, 62, "
43. ditto; Sept. 1, 62,
44. ditto; Annual Financial Report, Oct. 1, 62
45. ditto; Comment on Report, Oct. 3, 62
46. ditto; Corres. & Annual Report, Oct. 4, 62
47. ditto; Nov. 21, 62
48. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. Nov. 21, 62, San Francisco
49. J. C. Hepburn, Corres. Dec. 9, 62, Kanagawa
50. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. Feb. 7, 63, San Francisco
51. J. C. Hepburn, Corres. Mar. 26, 63, Yokohama
52. ditto; April 29, 63, "
53. ditto. May 11, 63, "
54. ditto; May 15, 63, "
55. ditto; May 26, 63, "
56. David Thompson, Corres. May 26, 63, "
  
57. J. C. Hepburn, Corres. June 15, 63, "
58. ditto; July 23, 63, "
59. D. Thompson, Corres. Sept. 11, 63, "
60. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. Sept. 29, 63, "
61. J. C. Hepburn, Corres. Oct. 1, 63, " (Annual Report)
62. ditto; Oct. 23, 63, "
63. J. C. Hepburn, D. Thompson, Fourth Annual Report
64. J. C. Hepburn, Corres. Oct. 28, 63, Yokohama
65. D. Thompson, Corres. Oct. 29, 63, "
66. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. Nov. 16, 63, "
67. J. C. Hepburn, Corres. Nov. 27, 63, "
68. D. Thompson, Corres. Nov. 30, 63, "
69. ditto; Jan. 5, 64, "
70. ditto; Jan. 21, 64, "
71. J. C. Hepburn, Corres. Feb. 10, 64, "
72. ditto; Feb. 12, 64, "
73. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. March 16, 64, "
74. D. Thompson, Corres. March 17, 64, "
75. J. C. Hepburn, Corres. April 13, 64, "
76. D. Thompson, Corres. May 11, 64, "
77. J. C. Hepburn, Corres. May 12, 64, "
78. D. Thompson, Corres. June 15, 64, "
79. J. C. Hepburn, Corres. July 25, 64, "
80. D. Thompson, Corres. Aug. 2, 64, "
81. J. C. Hepburn, Corres. Sept. 29, 64, "

82. ditto; Sept. 2, 64, "
83. D. Thompson, Corres. Oct. 3, 64, "  
 (Fifth Annual Report-1864)
84. Mrs. J. C. Hepburn, Monthly Mission Letter, Nov. 15,  
 64, Yokohama
85. J. C. Hepburn, Corres. Nov. 28, 64, "
86. D. Thompson, Corres. Dec. 14, 64, "
87. J. C. Hepburn, Monthly Letter, Jan. 7, 65, "
88. D. Thompson, Monthly Letter, Feb. 28, 65, "
89. J. C. Hepburn, Monthly Letter, March 16, 65, "
90. ditto; April 25, 65, "
91. D. Thompson, Corres. May 25, 65, "
92. J. C. Hepburn, Monthly Letter, June 13, 65, "
93. D. Thompson, Monthly Letter, July 24, 65, "
94. J. C. Hepburn, Monthly Letter, Aug. 10, 65, "
95. Hepburn, Thompson, Sixth Annual Report, Oct. 13,  
 65, Yokohama
96. Mrs. J. C. Hepburn, Corres. Nov. 18, 65, "
97. D. Thompson, Corres. Nov. 10, 65, "
98. J. C. Hepburn, Corres. Dec. 15, 65, "
99. D. Thompson, Corres. Jan. 29, 66, "
100. J. C. Hepburn, Corres. March 6, 66, "
101. D. Thompson, Corres. April 27, 66, "
102. J. C. Hepburn, Corres. June 2, 66, "
103. ditto; July 2, 65, "
104. ditto; Sept. 4, 65, "
105. D. Thompson, Seventh Annual Report, Oct. 1, 66
106. J. C. Hepburn, Corres. Dec. 7, 66, Shanghai
107. D. Thompson, Personal Report, Dec. 31, 66 Yokohama
108. J. C. Hepburn, Corres. Jan. 25, 67, Shanghai
109. D. Thompson, Corres. March 15, 67, Yokohama
110. J. C. Hepburn, Corres. May 23, 67, "
111. ditto; June 22, 67, Yokohama
112. ditto; Aug. 67, "
113. ditto; Eighth Annual Report, Oct. 22, 67, "
114. D. Thompson, Monthly Letter, Dec. 4, 67, "
115. ditto; Corres. Jan. 23, 68, "
116. J. C. Hepburn, Corres. Jan. 24, 68, "
117. Rev. Edward Corres and Mrs. Dec. 27, 68, "
118. J. C. Hepburn, Corres. March 6, 68, "
119. ditto; April 24, 68, "
120. ditto; May 28, 68, "
121. D. Thompson, Corres. June 2, 68, "
122. E. Cornes, Corres. June 3, 68, San Francisco
123. ditto; June 27, 68, Yokohama
124. J. C. Hepburn, Corres. July 25, 68, "
125. D. Thompson, Corres. Sept. 23, 68, "
126. E. Cornes, Sept. 24, 68, "
127. J. C. Hepburn, Corres. Sept. 25, 68, "
128. ditto; Oct. 23, 68, "

129. D. Thompson, Ninth Annual Report, Oct. 26, 68, Yokohama

初期十年間の長老派報告書簡はヘボン夫妻、タムソン、それにコーンズの書簡であるが、前述の高谷氏のヘボン書簡集のそれと比較してヘボンの書簡それ自体にくつかの出入があり、発表にあたっては、それによっても史料自体の所在をそれぞれ明確化し、その出典を明記しつつ、その典拠を明らかにしなくてはならない。しかして別の機会にすべての日本基督教会関係文書の総合リストを作成したいと思っている。

## 7 Y M C A ・ Y W C A 関係文書

所在 Yale Divinity School, Day Mission Library  
409 Prospect St. New Haven, Conn.

表記のような日本の Y M C A ・ Y W C A 関係の文書に関しては、さらに本来的に、しかも豊富にその史料を収蔵している協会もしくは図書館が求められるであろう。筆者がはじめて Day Mission Library に求めたのは同志社のラーネン、D. W. Learned の影響をうけた同志社の学生達の神学研究や、この神学校に学んだ片山潜に関する史料の有無であった。しかし、同図書館の収蔵する日本伝道関係の文書を検索するにおよんで、この図書館の収蔵す

- る文書が日本の Y M C A ・ Y W C A 活動に関するきわめて重要な文書を所蔵することを発見した。したがって、性格の上では、単にイエール大学神学校日本伝道関係文書とすべきであるが、いまかりに、Y M C A ・ Y W C A 関係文書となづけておくこととする。ここに収蔵されるものは後述の書簡類の外は邦文の基督教青年会、女子基督教青年会関係のパンフレットおよび雑誌などであって、それはすべて収納箱に九箱とその他、たばねられた小冊子である。
1. Correspondence of Dr. J. R. Mott with Miss Michi Kawai (河井道子) May 3, 1913~March 25, 1924
  2. Correspondence of Ruth Rouse with Miss Michi Kawai 1910-1920, 1920-1922
  3. Correspondence of Ruth Rouse with Carolina MacDonald 1905-1918, 1906-1920
  4. Ruth Rouse, Document (Women Student leaders & workers 1906-1919)
  5. Correspondence of Ruth Rouse with Soichi Saito 1922, 23
  6. G. M. Fisher, Correspondence Feb. 1906
  7. Kajinosuke Iwuka (井深龍之助) Correspondence Feb. 2, 1899



### 結びにかえて

各教派別の派遣宣教師による日本宣教伝道報告書簡の所在の概要は上述の通りであるが、このほかに、イェール大学神学校図書館の日本関係史料の性格に似たものとして、派遣宣教師ではないが、その周辺の関係者と日本人伝道師または日本人牧師、さらにはその周辺の人びととの間に往復された書簡も看過できないものがある。

そうした点で有数の史料を収蔵していると思われるのはアーモスト大学 Amherst College の場合である。この大学に幕末以来新島襄が在学し、その後をうけて神田乃武、さらには内村鑑三等数多くの日本人が修学したことは周知のことである。新島をはじめとする日本人留学者にとつて、当時アーモスト大学総長であったシーリー Julius H. Seelye、やむにはヒッチコック教授 Edward Hitchcock の家蔵の文書類がこの大学の図書館に収蔵されていることは、たんにアメリカ時代の新島襄・内村鑑三などを知る手がかりをうるばかりでなく、とくに新島のアーモスト在学時代に遭遇した岩倉大使一行のアメリカでの交渉・視察・調査に新島が関与したために、その交渉はさらにシーリーと森有礼、シーリーと文部理事官田中不二麿との間に関係が結ばれ、爾来アーモ

スト大学と日本文部省当局との間に緊密な交渉がもち続けられていたことを窺うことができ、日米間の文化交流の一面を探究する上ですぐれて重要である。

また、アメリカン・ボードの日本通信員の資格で帰国した後の新島襄のシーリーにあてた書簡は、純然たる日本人牧師の宣教伝道報告という性格を具備しているので、ホートン・アーカイブスに収蔵される新島襄報告書簡と比較してきわめて興味深いものがある。

いまアーモスト大学図書館原文書室に収蔵されるシーリー文書・ヒッチコック文書のうち、上述の日本関係の文書(英文)をあげれば次のようなものがある。まず新島襄のシーリーおよびヒッチコック宛書簡は一八六八年四月から、一八八九年九月にいたる間の二十一通であつて、その内訳は、六八年四月十五日付と六月二十八日付各一通、六九年三月十七日付一通、七〇年四月十九日付、七月二十五日付、十二月二十七日付各一通、七三年三月十日付一通、七四年一月十日付、十月二十九日付各一通、七五年四月二十七日付一通、七五年三月二十七日付一通、十二月二十四日各二通、七七年七月十八日付一通、八一年七月十一日付一通、八五年十月二十二日付、十月二十九日付、十二月二十五日付各一通、八六年四月二十八日付、十一月三十日付各一通、および八九年九月三日

付一通である。これらのうち、六八年四月十五日付でヒッチョック宛に出したものは除外はすべてシーリー宛に発せられたものである。なお、新島書簡については先述のオランダ改革派関係文書の

バラ J. H. Ballagh (在横浜 関係綴 [7472 Box 2] に、一八六八年三月十三日付のバラ宛のものが一通あり、これらは維新の動乱をアメリカで聞き、みずからの修学の問題、信仰の問題、さらに岩倉使節にからむ学制調査の件、帰国直後の印象、京都同志社における学校運営など、きわめて多くの問題を提供してくれる。新島に関連して田中不二磨のシーリー宛書簡も興味深く、その数は

一〇通であるが、アーモスト大学総長シーリーが日本の文部省行政に寄与していたことが大きかったことを知ることができる。それは、田中の文部大輔辞任は明治十三年三月十五日であるが、當時寺島宗則から文部卿のポストを継承した河野敏鎌や、さらにその後任である福岡孝弟らが文部卿辞任および就任の挨拶をシーリー宛におくっていることから窺うことができる。

ちなみに、田中不二磨および河野敏鎌、福岡孝弟の書簡は次の通りである。

すなわち、田中不二磨の書簡は、二五三三年九月八日付、明治六年十一月七日付、明治七年五月七日付、明治八年八月十日付、一八七七年二月九日付、明治十一年三月六日付、同年八月十五日

付、明治十二年四月十日付、一八八〇年一月十日付、同年十二月十二日付のものである。

田中の日付の書き方は英文の書式を踏襲しながら、前掲のように、二五三三年としてゐる例や、Nov 7, 6th year of Meiji としているなど興味深い。河野敏鎌の書簡は一通であるが、その日付の書き方も 4th, 2d month, 14th year of Meiji とあり、福岡孝弟の明治十四年五月の二通の書簡も、まったく同様の記述をしている。

その他森有礼書簡には年記がしるされていないがニューヨークから八月十六日付で出されているもの、一八七二年二月三日付の二通があり、すべてシーリー宛である。また、内村鑑三のシーリー宛書簡はすべて九通あり、それは一八八七年六月十七日付、十一月二十五日付各一通、八八年二月八日付、同月二十九日付、六月十九日付各一通、九〇年二月二十六日付一通、九二年二月十六日付一通、一九〇四年四月十三日付一通である。一八八八年六月以降の書簡は帰国以後の消息をシーリーに伝えるものである。

なお、シーリー文書にはアメリカ留学中の矢田部良吉の書簡二通、神田乃武の書簡四通などがあり、また、シーリーは一八七二年七月から翌年三月にかけてインドに旅行するが、その際の航海日誌も収蔵されている。シーリーはインド旅行の途次、横浜の海

岸教会（日本基督公会）で日本人信者に奨励し、その際留学中の新島のことにも言及して、かれを日本の牧界に迎え入れることをすすめるなど、現実に日本で行なった活動を従来太政官の諜者報告などから知らされているが（拙稿「識者の見た初期教会形成過程」〔日本におけるキリスト教と社会問題〕所収 みすず書房 昭和三七年）その際かれがしたためた航海日誌は故人の遺意でコピーすることが禁ぜられていたので、短日時のうちには、日本に関する叙述部分を刻明に検討することができなかった。

この種の日本人留学生と緊密な関係をもったところはさらにその他いくつかあげられるが、私の渉猟しえた範囲は以上の通りである。

由来この種の史料探訪の作業は徒労も覚悟で巡歴しなければならぬ。しかも、その作業は綿密・周到さを必須の条件とする。そのためには多大の時間も必要である。私のこの作業はけっして十分なものではない、他日さらに確実な実地踏査を必要とすることは論をまたない。

〔同志社大学人文科学研究所助教授〕